



大学院生の研究活動を支援する学会活動支援制度



学会発表の場合は40,000円、学会参加の場合は10,000円を一人当たりの年間上限額として支援を行います。2024年度の支援実績は、学会発表59件、学会参加18件でした。

大学院生を対象とする奨学金制度（例）

武庫川女子大学大学院学生奨学

種 類	給付
出 願 資 格	本学大学院に在学し、大学院での学力、研究業績が優秀で奨学生としてふさわしい者（外国人留学生、当該年度4月1日時点で50歳以上の者は除く）
支 給 額	当年度授業料の40%相当額
支 給 期 間	1学年度限り

武庫川学院創立80周年記念特別奨学

種 類	給付
出 願 資 格	家計困窮でありながら学業継続の意思のある者 貸与奨学金受給者又は出願者 学部時の累積GPA2.0以上
支 給 額	年額200,000円
支 給 期 間	原則、1学年度限りとするが、過年度採用者の再出願は妨げない



日本学生支援機構

種 類	貸与
目 的	勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生が経済的理由により修学を諦めることのないよう支援する。 ※大学院の修士課程相当または博士課程相当に進学した者で、人物・学力の推薦基準を満たしている奨学金申込者を進学した大学院が推薦し、日本学生支援機構で家計を含めた審査・選考を行う。
支 給 額	第一種奨学金（無利子） 修士課程 月学50,000円、88,000円から選択 博士後期課程・博士課程 月学80,000円、122,000円から選択 授業料後払い制度（修士課程のみ・無利子） 授業料支援金 各研究科の授業料相当額を学校が指定する月に大学へ振込（別途、保証料相当額も貸与額に含む） 生活費奨学金 月額0円、20,000円、40,000円から選択 第二種奨学金（無利子） 月額50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択

武庫川女子大学大学院学生フェローシップ制度

種 類	給付
出 願 資 格	以下の要件を全て満たすフェローシップ学生としてふさわしい本学博士後期課程または博士課程に在籍する女子学生 ①研究業績が優秀であること ②出願時点で休学していないこと ③成績不振による修了延期ではないことおよび修了延期が確定していないこと （出願時点で46歳以上の者、外国人留学生は除く）
支 給 額	年額600,000円
支 給 期 間	博士後期課程は3年間、博士課程は4年間で限度とし、採用時における最短修業年限とする ※この制度は令和5年度 文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）による



奨学金制度の詳細について：学生部学生課（奨学金担当） TEL 0798-45-3603

<https://www.mukogawa-u.ac.jp/~gakusei/scholarship/scholarship.html>



大学院の情報はぜひ大学ホームページでチェックを！ 武庫川女子大学大学院 大学院紹介



武庫川女子大学のホームページで、大学院の最新情報をご覧ください。「大学院・専攻科入試ガイド」ページには大学院案内デジタルパンフレットも掲載しています。

入試説明会

オープンキャンパス

論文発表会

講演会・セミナー



大学院案内
デジタルパンフレット

武庫川女子大学大学院（男女共学）って どんなところ？

武庫川女子大学大学院では、学部で身に付けた幅広い教養と専門知識を踏まえて研究を深め、研究者として自立する力、高度な専門性を要する職業に必要な能力を養います。各研究科・専攻では、指導教員が研究活動をサポートし、社会や時代の要請に応えることのできる人材を輩出しています。修士課程の標準修業年限は2年、博士後期課程（薬学専攻以外の全専攻）は3年、博士課程（薬学専攻のみ）は4年です。

本学の大学院はこんなところです

研究科名	専攻名	入学定員	
		修士	博士後期
文学	日本語日本文学	12人	3人
	英語英米文学	12人	3人
	教育学	6人	—
	臨床心理学	20人	—
臨床教育学	臨床教育学	16人	6人
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学	20人	—
生活環境学	生活環境学	6人	2人
	食物栄養科学	8人	2人
食物栄養科学	食創造科学	4人	2人
	建築学	22人	2人
建築学	景観建築学	15人	1人
	薬学	—	(博士課程) 2人
薬学	薬科学	30人	2人
	看護学	15人	5人

約300人の院生が在籍

現在、学内に約300人の大学院生が在籍しています。大学卒業後、学部で身に付けた教養をさらに深めることや、専門性を究めるための選択肢として、大学院へ進学することが考えられます。



大学の授業も聴講できます

「学部聴講制度」を活用すると、大学院に通いながら大学で開講している科目を受講することができます（ただし女性のみ）。

長期履修学生制度を設けています

時間的制約の多い社会人が、それぞれの事情に応じて1年単位で課程在学中1回に限り標準修業年限を延長することができる制度です。制度を活用することで仕事をしながら計画的に学位を取得することを可能にしています。

学部生には大学院進学の特遇措置があるのをご存じですか？

武庫川女子大学大学院各専攻の入学金は280,000円（2025年度参考）ですが

武庫川女子大学および武庫川女子大学短期大学部の卒業生で、修士課程に入学する者は、新卒・既卒の区別なく**入学金が半額免除**になります。

武庫川女子大学建築学部卒業後ただちに建築学研究科修士課程に入学する者は、**入学金が全学免除**になります。

一部の専攻では、本学の学部生（卒業学年の在籍学生）が大学院の一部の科目を受講できる、**先取り履修制度**も導入されています。修得した単位は、大学院入学後に、本人が入学前既修得単位認定の手続きを所定の期間に行うことで、大学院修了に必要な単位として認定されます。

大学院への進学に関する問い合わせ 武庫川女子大学 アドミッションセンター ☎0798-45-3500

武庫川女子大学 受験生サイト

<https://www.mukogawa-u.ac.jp/~nyushi/>



武庫川女子大学大学院での学びの特色

文学研究科

日本語日本文学専攻



日本語・日本文学・国語教育・日本語教育の、いずれの分野においても指導スタッフが充実しています。学生が着実に研究を重ねていけるよう、定例の研究発表会を設けるなど、支援態勢も整えています。修了後は、さらに研鑽を重ねて学術研究に携わる一方、教員免許状(専修)を取得して中等教育機関の教諭になったり、国内外の日本語教育機関に勤務したりして、大学院で修得した知見と技能をもとに各方面に活躍しています。

URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/in/japanese/>



英語英米文学専攻



英語英米文学専攻は、英文学・米文学・英語学・英語教育・英米文化の研究分野において、新しい国際化時代の要請に応えられる高度な専門的職業人を養成します。中学・高校教員や大学教員・研究者だけでなく、公務員、文化事業・文化行政、マスコミ・ジャーナリズムなどの世界でも活躍できる人材の養成を目指し、学生一人ひとりの知的関心に基づいて適切かつ丁寧な研究指導を行います。

URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/in/english/>



教育学専攻



教育学専攻は、教育・保育に関して、学部教育レベル以上に学びを深めたい人、高度専門職者(実践家・研究者)を目指したい人のための専攻です。本専攻には「教育哲学・人間学」「教育方法・教育経営」「幼児教育・保育」の3つの研究分野があります。現代の学校教育や保育が抱える諸課題の解決を展望しつつ、各自の問題関心に即して研究する中で、教育・保育の高度化を求める社会の要請にも応えています。

URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/in/education/>



臨床心理学専攻



臨床心理学専攻は、心理臨床の現場で活躍する心理職専門職を養成するため、心理職の国家資格である公認心理師取得に対応したカリキュラム・実習環境を整備しています。知識やスキルの獲得や修士論文の作成指導、また学内外の様々な心理実習機関での訓練により、専門性と実践性を兼ね備えた質の高い心理臨床家の養成を目指しています。主な就職先は、保健医療領域、教育領域、福祉領域、行政機関、博士課程進学など多岐にわたっています。

URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/in/psychology/>



臨床教育学研究科

臨床教育学専攻 修士課程 博士後期課程



臨床教育学専攻は、保育・教育、医療・療育、心理、保健・福祉など主に対人援助職にある社会人対象の夜間開講・男女共学の大学院です。教育学・心理学・福祉学の3領域を柱として学際的な教育と実践的研究を行っています。働きながら学びやすいようオンデマンド授業やハイフレックス方式による授業・研究指導を行っています。領域や経験の違いを超えた交流も魅力のひとつです。修了生の中には大学、専門学校等で教育・研究職に就く方も多くいます。

(※博士後期課程の教育学分野および臨床心理学分野は昼間開講です。)

URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/in/clinical/>



健康・スポーツ科学研究科

健康・スポーツ科学専攻



健康・スポーツ科学研究科は、「スポーツ教育学分野」「スポーツ科学分野」「スポーツマネジメント学分野」「健康科学分野」の4分野からなります。本専攻は昼夜開講制度を設けているので学生には社会人もいます。大学院修了後は本学あるいは他大学の博士後期課程に進学する人や中学校・高等学校の教員採用試験(保健体育科)に合格して教育現場で活躍している修了生も多くいます。

URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/in/health/>



生活環境学研究科

生活環境学専攻 修士課程 博士後期課程



生活環境学専攻は、生活環境学科と情報メディア学科の共同で開設されており、衣や住、街や都市、モノや情報、文化や行動、材料やデザインなどが研究対象です。研究指導は、生活環境学科・情報メディア学科の教員が担当しており、卒業研究の指導教員から、引き続き指導を受けることができます。修了後の進路は民間企業や公的な仕事など様々ですが、最も多いのは本学の助手です。在学して所定の科目を履修することで、一級建築士の免許登録要件である「2年間の実務経験」を充足します。

URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/in/human/>



☀️🌙 …昼夜開講 ☀️ …昼間開講 🌙 …夜間開講

※1 臨床教育学専攻修士課程は主として社会人を対象とした夜間開講です。臨床教育学専攻博士後期課程は3分野からなり、教育学分野および臨床心理学分野は昼間開講、臨床教育学分野は夜間開講です。

※2 看護学専攻修士課程には、看護学研究コースと看護学研究保健師コースがあります。看護学研究コースは夜間とし、夜間および土曜日開講で、看護学研究保健師コースは昼夜および土曜日開講です。看護学専攻博士後期課程は夜間および土曜日開講です。

食物栄養科学研究科

食物栄養学専攻



本専攻は、2コースから成ります。健康栄養科学コースでは、食品中の機能性物質による疾病予防効果、食物アレルギー低減食の開発や分子栄養学的研究など実験を基盤とする研究と、疫学手法による集団レベル(国・地方自治体、職場、学校など)での栄養調査や健康教育手法の開発などの研究を行っています。実践管理栄養コースでは、長期間の臨床実習を通じて高度職業人たる管理栄養士を養成します。包括的な栄養アセスメント能力を養い、Nutrition Support Team(NST)への参加からチーム医療に関する最新の知識や臨床研究の専門知識を習得します。主な就職先は、官公庁技術公務員、国公立病院管理栄養士、管理栄養士養成施設等の教育研究職などです。なお、健康栄養科学コースは、栄養教諭専修免許課程です。

URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/in/food/>



食創造科学専攻



食創造科学専攻では、食産業界の先導者となって新しい製品やサービスを創出できる食の専門家を養成し、広く食産業界で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。LC/MSアミノ酸分析システムや液体クロマトグラフ質量分析計など最新機器を駆使した機器分析、「食考房」でのメニュー開発や新製品の企画・開発など企業はじめ広く食産業界と関わりながら研究を進めています。これにより、食に関する卓越した専門力と探求力および国際的な場で実践できる知識と教養、さらには食産業界でリーダーシップを発揮できる技術力とコミュニケーション能力を身につけ、豊かな発想力から生まれる創造的な研究に取り組むことができる食の専門家を養成します。

URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/in/foodsciences/>



建築学研究科

入学時から専門分野別の研究室に配属される研究中心型の大学院とは異なり、学年全員が共通の課題に取り組む演習中心の欧米型スタジオ教育を行います。また充実したインターンシップ科目を含む実践的教育は、一級建築士の免許登録要件である「実務経験2年」を充足します。

建築学専攻 修士課程 博士後期課程



UNESCO(国際連合教育科学文化機関)およびUIA(国際建築家連合)により、欧米型の建築家教育に基づいた、建築家教育の世界水準が定められています(UNESCO-UIA 建築教育憲章)。建築学専攻では、グローバル社会に貢献できる国際的通用性を備えた高度な建築設計技術者や研究者を、この世界水準を満たす学びを通して養成します。

URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/in/arch/>



景観建築学専攻 修士課程 博士後期課程



これから求められていく持続可能な建築や都市は、水辺景観や集落景観等の文化的景観、街路樹や公園緑地等を含む都市景観、屋上や壁面等の緑化技術、木・紙・土のような自然素材、さらには生物多様性の保全等、自然との関係を大切にしながら創生される必要があります。景観建築学

専攻では、自然と共生する社会に貢献できる高度な建築・景観設計技術者や研究者を、「建築」「自然との共生」「景観映像情報技術」を融合した幅広い学びを通して養成します。

URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/in/landscape/>



薬学研究科

薬学専攻



薬学専攻博士課程は、薬物治療学分野および実践医療薬学分野に関する教育と研究を行い、病院・薬局や研究機関等で医薬品の創製と適正使用に関する高度専門性を有する職業人、自立した研究者の養成を行っています。課程修了者は博士論文審査を受け、博士(薬学)の学位を取得し、指導的薬剤師や企業研究者として活躍しています。男女共学、昼夜開講制、長期履修学生制度、社会人受け入れなども実施しています。

URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/in/pharmacy/>



薬科学専攻



薬科学専攻では、化学物質や天然物の合成、作用、安全性など、医薬品・化粧品・健康食品の創製と応用に関わる独創的で多様な研究を行っています。ここで学んだ知識や技術は、医薬品・化粧品・健康食品の開発、病気の治療

や健康の増進、化学物質の安全性など、多彩な分野に活用することができ、修了した人の多くが大学や公的研究機関、化学・製薬会社、化粧品メーカー、食品メーカーなどに就職して活躍しています。

URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/in/pharmaceutical/>



看護学研究科

看護学専攻



看護学専攻修士課程では、専ら夜間で現職看護職のキャリアアップを目指す看護学研究コースと、昼間と夜間とで保健施策の企画力のある保健師を育成する看護学研究保健師コースがあります。博士後期課程では、看護実践の場や教育機関において教育研究能力を発揮できる人材の育成を目指しています。指導は、博士の学位をもつ教員が担当し、充実した指導体制を整えています。主な就職先は病院、教育機関(大学等)、行政機関(保健所等)などです。看護学研究保健師コースでは、看護学部生向けに推薦入試を行っています。

URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/in/nursing/>

